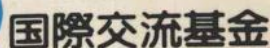


本語初集



日本語初歩

国際交流基金

THE JAPAN FOUNDATION

日本語初歩

執筆者

鈴木 木 忍

元、国際学友会日本語学校校長，東京外国語大学附属日本語学校教授，同校名誉教授，大東文化大学教授。1979年没

川 瀬 生 郎

東京大学留学生教育センター教授

日本語初歩

昭和56年3月30日 初版第一刷発行

昭和62年10月15日 改訂版第六刷発行

定価1,900円

編 集 国 際 交 流 基 金
東京都千代田区紀尾井町3番6号
〒102 ハークビル内
電話 03-263-4501(代)

印刷・発行 株式会社 凡人社
代表者 田 中 久 光
東京都千代田区麹町6丁目2番地
〒102 麹町6丁目ビル内
電話 03-472-2240

まえがき

「日本語初歩」は、主として海外で日本語を学習しようとする学生および一般成人のために、先に刊行した「かな入門」、「はつおん」および「漢字入門」に引き続いて、当基金が刊行する初級者用日本語教科書である。

本教科書は、1981年に試用版として発行されて以来、日本国内外の日本語教育機関において広く使用されるようになり、現在に至るまで、本書に対する数々のご意見・ご批判をいただいている。今回それらのご意見を参考に一部改訂を行い、従来の初歩ⅠおよびⅡを合本して、よりハンディーな形にして発行することになった。

この改訂に合わせて、本書の「本文」および「文の型」を録音したカセットテープ、練習帳、漢字練習帳そして語彙索引（英語版）を補助教材として発行することにしたので、併せてご利用いただければ誠に幸いである。

今回の一部改訂に当っては、著者である川瀬生郎氏に、また補助教材の作成については村崎恭子氏にご協力いただいた。両氏のご尽力に対し厚くお礼申しあげる。

1985年5月

国際交流基金

「日本語初歩」について

1. この「日本語初歩」は、日本語を初歩から学ぼうとする外国人学習者を対象として編集したものである。
2. 本書は、海外における日本語学習者の使用に供するため編集したものであるが、国内においても、用い方によりじゅうぶん利用できるように配慮した。
3. 本書は、日本語の基本的な発音とかな文字の学習をひととおり終えた段階で、あるいは、それらの学習と併行しながら、日本語の基本的な文型に習熟させることに目標をおいている。
4. 本書は、「聞く、話す、読む、書く」の四技能の基礎を段階的に習得させ、その定着を図ることを主眼としている。使用に際しては、まず口頭による導入、練習を行い、そのあと、それをさらに補強し定着させるため、読み書きの学習を行うことが望ましい。
5. 本書は、学習時数約 300 時間で終了することを予定して編集した。本書の学習後、平易な表現による一般的な話し言葉・書き言葉へと学習を発展させることが望ましい。
6. 本書は、34 課から成っている。各課は、表現意図に応ずる文型と文の構造的な特徴を骨組みとし、表現場面を考慮しながら主題をまとめ、これに主要な文法事項を配して構成した。各課に提出した主要な文型および文法事項は、「主な文型・文法事項」として巻末に示した。
7. 各課は、それぞれ「本文」と「練習」とから成っている。「本文」では、その課で扱う文型を、一定の場面に当てはめ、問答形式で提出することにより、その表現が文脈の中で正しく理解できるように配慮した。「練習」では、本文に提出された文型を個々に取り上げ、模倣・記憶・応用の順序で、「文の型」「言葉のきまり」「まるうめ」「わくうめ」「置きかえ」「言いかえ」「問いと答え」などの名目で、各種の練習を配した。

8. 新出の文型・語彙・漢字は、各課の「本文」と「練習」の「文の型」「言葉のきまり」において提出し、「まるうめ」以後の練習では、既出の文型・語彙・漢字のみを用いた。
9. 本書で用いた語彙は、最も基本的と思われるもの約 1400 語である。各課で提出した新出語彙は、それぞれ各課の終わりに「新しい言葉」として、名詞、指示詞（疑問詞・連体詞）、形容詞、形容動詞、動詞、副詞、接続詞、感動詞、慣用句、助詞、助動詞、連語、接頭接尾語などのグループごとにまとめて示した。また、本書全体に提出した語彙は、巻末に「語彙さくいん」としてまとめた。
10. 漢字は、新出 380 字を、読みかえ 125 字を常用漢字表から選んで提出した。各課で提出した新出漢字と読みかえ漢字は、それぞれ各課の終わりに「新しい漢字」として示し、本書全体に提出した漢字は、巻末に「新出漢字表」としてまとめた。
- 欄外に書き出した漢字は、新出と読みかえ漢字で、新出漢字はそのまま、読みかえ漢字は下線を付して示した。各課の終わりの「新しい漢字」においても、新出漢字はそのまま、読みかえ漢字には下線を付し、既出漢字は（ ）をつけて示し、それぞれを区別した。
11. 表記は、現代かなづかいによって統一した。漢字については、常用漢字表、同音訓表を基準とした。
- なお、文の成分、語句の切れ続きを正しく理解させるため、全文をわかち書きにした。わかち書きは、接辞、助詞、助動詞は上の語に続けて書き、その他は離して書くのを原則とした。
12. 挿絵を、適宜配し、学習と指導の便宜を図った。特に、口頭による文型練習に利用できるよう配置した。
13. 本書の編集に際しては、全体の構成と 21 課までの執筆を鈴木 忍 が、それ以外の部分を川瀬生郎が担当した。

本書の刊行に際しては、国際交流基金日本研究部の方々のお世話になった。

昭和 57 年 3 月

鈴木 忍
川 瀬 生 郎

も く じ

	ページ
1 わたしは にほんじんです	1
2 これは つくえです	7
3 ここに でんわが あります	15
4 あそこに 人が います	23
5 あかい りんごは いくつ ありますか	31
6 ばらの 花は 一本 いくらですか	41
7 あなたは あした どこへ いきますか	50
8 日曜日には なにを しますか	57
9 わたしは あさ 早く おきます	65
10 きのは あつかったです	75
11 日本へ べんきょうに 行きます.....	83
12 あれは どこへ 行く バスですか	90
13 何時に うちを 出て、 学校へ 来ますか	99
14 この 本を かして ください	109
15 えいごで 何と 言いますか	119
16 雨が ふって います	127
17 ラタナーさんは 白い くつを はいて います	134
18 かべに 地図が はって あります	142
19 日本へ 行こうと 思っ て います	151
20 にくと やさいで りょうりを 作ります	158
21 きょうは 雨が ふるそうです	167

22	わたしは スポーツが すきです	177
23	あなたは 日本語が 話せますか	186
24	兄は 子どもが 二人 あります	196
25	発音は 日本語の ほうが やさしいです	205
26	写真を とっても いいですか	213
27	時間が ないから 急いで ください	222
28	だれか 来たようです	232
29	わたしは ネクタイを もらいました	242
30	選手に 練習を させます	252
31	さいふを ぬすまれました	262
32	お金が あれば 行きたいです	272
33	先生は けさの 新聞を お読みに なりましたか	284
34	君は 何に する	295
語彙索引		303
新出漢字表		391
主な文型・文法事項		393

1. わたしは にほんじんです

わたしは はやしです。

わたしは にほんじんです。

わたしは にほんごの せんせいです。



こんにちは。

わたしは はやしです。

はじめまして。

わたしは ジョン スミスです。どうぞよろしく。

あなたは ジョンさんですか。

はい、 わたしは ジョンです。

あなたは がくせいですか。

はい、 わたしは がくせいです。

あなたは フランスじんですか。

いいえ、 わたしは フランスじんでは ありません。

アメリカじんです。

この かたは どなたですか。

その かたは インドネシアの アリさんです。

その かたは どなたですか。

この かたは ちゅうごくの チンさんです。

あの かたは どなたですか。

どの かたですか。

あの おんなの かたです。

あの かたは タイの ラタナーさんです。

あの おとこの かたは どなたですか。

あの かたは フィリピンの ガロさんです。



アリさんは にほんじんですか。

いいえ、アリさんは にほんじんでは ありません。アリさんは インドネシアじんです。

チンさんは にほんじんですか。

いいえ、チンさんも にほんじんでは ありません。チンさんは ちゅうごくじんです。

ラタナーさんも ちゅうごくじんですか。

いいえ、ラタナーさんは ちゅうごくじんでは ありません。ラタナーさんは タイじんです。

れ ん し ゅ う

1. ぶんの かた

(1)

① わたしは オーストラリアの がくせいです。

② わたしは イギリスの がくせいです。

③ わたしは マレーシアの がくせいです。

④ わたしは シンガポールの がくせいです。

⑤ わたしは インドの がくせいです。

(2)

- ① わたしは オーストラリアじんです。
- ② わたしは イギリスじんです。
- ③ わたしは マレーシアじんです。
- ④ わたしは シンガポールじんです。
- ⑤ わたしは インドじんです。

(3)

- ① あの かたは ちゅうごくごの せんせいです。
- ② あの かたは タイごの せんせいです。
- ③ あの かたは インドネシアごの せんせいです。
- ④ あの かたは えいごの せんせいです。

(4)

- ① この かたは どなたですか。→ この ひとは だれですか。
- ② その かたは どなたですか。→ その ひとは だれですか。
- ③ あの かたは どなたですか。→ あの ひとは だれですか。
- ④ あの おんなの かたは どなたですか。→ あの おんなの ひとは だれですか。

2. まるうめ

- (1) あなたは ジョンさんですか。

はい、わたし ☐ ジョンです。

- (2) あなたは がくせいですか。

いいえ、わたし ☐ がくせいでは ありません。

- (3) チンさんも ちゅうごくじんですか。

はい、チンさん ☐ ちゅうごくじんです。

(4) ラタナーさんも ちゅうごくじんですか。

いいえ、ラタナーさん ○ ちゅうごくじんでは ありません。

(5) アリさんは せんせいですか。

いいえ、アリさん ○ せんせいでは ありません。

チンさんは せんせいですか。

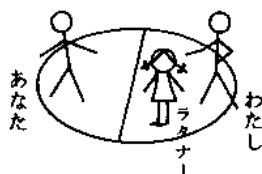
いいえ、チンさん ○ せんせいでは ありません。

ラタナーさんは せんせいですか。

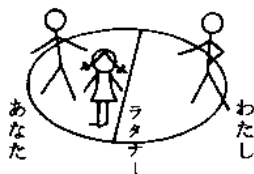
いいえ、ラタナーさん ○ せんせいでは ありません。

3. わくうめ

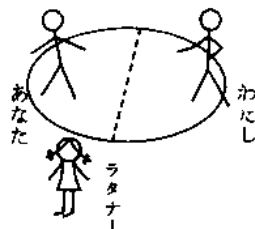
①



②



③



① は ラタナーさんです。

② は ラタナーさんです。

③ は ラタナーさんです。

4. いいかえ

(1)

れい わたしは にほんじんです。→ わたしは にほんじんでは あり
ません。

① わたしは がくせい

- ② あなたは せんせいです。
- ③ この かたは にほんじんです。
- ④ その かたは えいごの せんせいです。
- ⑤ あの かたは はやしさんです。

(2)

れい あなたは にほんじんです。→ あなたは にほんじんですか。

- ① あなたは がくせいです。
- ② あの かたは えいごの せんせいです。
- ③ アリさんは インドネシアじんです。
- ④ ジョンさんは アメリカの がくせいです。
- ⑤ ラタナーさんは おんなの がくせいです。

4. どいと こたえ

(1)

- ① あなたは チンさんですか。
はい、_____。
- ② あなたは アリさんですか。
いいえ、_____。
- ③ ラタナーさんは タイじんですか。
はい、_____。
- ④ チンさんは がくせいですか。
はい、_____。
- ⑤ ジョンさんも がくせいですか。
はい、_____。

(2)

- ① この かたは どなたですか。
- ② その かたは どなたですか。
- ③ あの かたは どなたですか。

◎ あたらしい ことば

- (1) にほんご せんせい がくせい おんな えいご おとこ ひと
(この)かた にほん フランス アメリカ インドネシア ちゅうごく
タイ オーストラリア イギリス マレーシア シンガポール フィリピン
インド はやし ジョン・スミス アリ チン ラタナー ガロ
- (2) わたし あなた どなた だれ
- (3) この その あの どの
- (4) はい いいえ
- (5) こんにちは はじめまして どうぞよろしく
- (6) は の か も
- (7) です
- (8) では ありません
- (9) 〜じん 〜さん 〜ご

2. これは つくえです

これは つくえです。

それは いすです。

あれは てんきです。

これは なんですか。

それは ほんです。

それは なんですか。

これは えんぴつです。

あれは なんですか。

あれは しんぶんです。

これは とけいですか。

はい、それは とけいです。

これも とけいですか。

はい、これも とけいです。

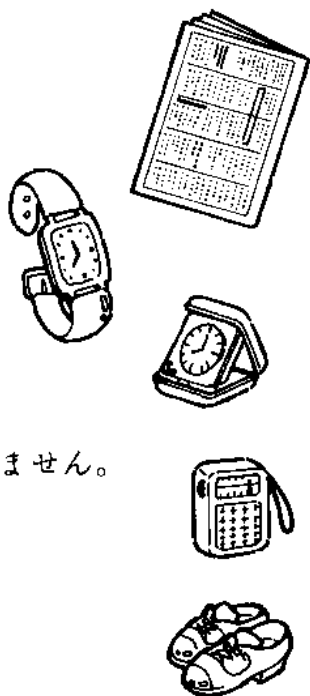
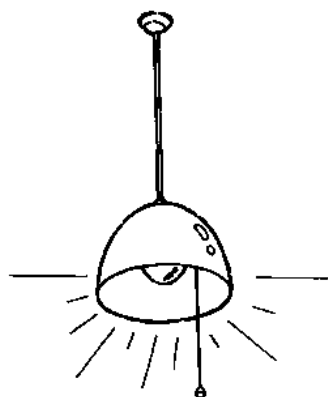
これも とけいですか。

いいえ、それは とけいでは ありません。

それは ラジオです。

それは くつですか。

はい、これは くつです。



それも くつですか。

はい、 これも くつです。

それも くつですか。

いいえ、 これは くつでは ありません。

これは サンドルです。



あれは うちですか。

はい、 あれは うちです。

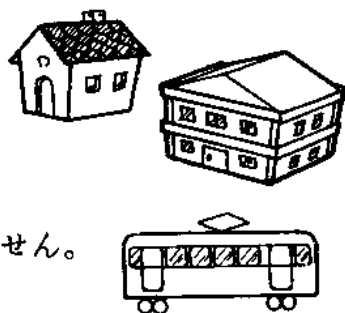
あれも うちですか。

はい、 あれも うちです。

あれも うちですか。

いいえ、 あれは うちでは ありません。

あれは でんしゃです。

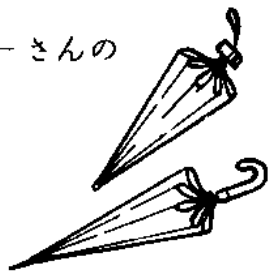


これは あなたの かさですか、 ラタナーさんの
かさですか。

それは ラタナーさんの かさです。

あなたの かさは どれですか。

わたしの かさは これです。



それは おどこの ぼうしですか、 おんなの
ぼうしですか。

これは おんなの ぼうしです。

おどこの ぼうしは どれですか。

おどこの ぼうしは それです。

